

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	0
施設名	八丁はなみずき保育園
施設所在地	武蔵野市中町2-21-14-103
法人名	一般社団法人ハナミズキ

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自分の周りの自然・環境  
『ゴミとリサイクル』

<テーマの設定理由>

子どもたち自身が日頃より手拭きペーパーの使い方や水を出しっぱなしにしない、折り紙やお絵描きをして遊ぶ時に無駄なく使うなど、自分たちが使っているものを大切にしようという姿が見られていることから「3R」について触れられるように設置。

## 2. 活動スケジュール

- ①「もったいない」ってなんだろう？
- ②太陽の暑さを体全体で感じてみよう
- ③リサイクルって？～玩具をつくってみよう～
- ④自分たちが捨てたゴミはどこに行くの？

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

「もったいないばあさん」の絵本の読み聞かせをして子どもたちが「もったいない」ということに関し  
て考えられるように場を設定。

体を思い切り動かすことができる環境下において、体全体を使って太陽の暑さを感じることができ  
るような場を設定。

発泡スチロールのトレイや段ボール、紙皿、ペットボトルの蓋、ペン、テープ、シールなどを用意して  
自分で考えて選び製作できるように十分な数を用意した。

写真を用いてごみ処理施設について知る機会を設けたり、見学に出かけられるような機会を設け理解を  
深められるようにしていく。

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

- ・絵本の読み聞かせを通して「もったいない」と言うことがどのようなことなのかを、グループに分かれて考え、発表する。
- ・温暖化という事象について知り、その中で太陽の暑さを実際に感じていく。
- ・リデュース、リユースの観点から玩具作りに挑戦する。
- ・ごみ処理施設の存在を知り、ゴミを増やさないために自分たちにできることが何かを考え発表する。

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・絵本の読み聞かせをすると自分たちが日頃より気を付けていること「水を出しっぱなしにしない」「折り紙やお絵描きの紙を無駄にしない」などについて発表する姿がみられた。
- ・太陽を背にしたり、芝に根転がることで「体が暑くなった」「ずっと太陽に当たっているところがすごい熱い」など気が付いたことを話す姿がみられた。
- ・「お家だとゴミにしてる」という言葉が多かったが、実際に使用して玩具が作れることに気がつく「もったいないだね」と話して玩具づくりを楽しむ様子が見られた。
- ・市内のクリーンセンターについて触れ、ゴミを処理するためにどのようなことが必要なのか、ゴミを分別する大切さなどに気が付く様子が見られた。自分ができることとして、お買い物際にはエコバッグを持っていくことや遊びに出かける際にはペットボトル飲料ではなく水筒を持っていくことなどを発表する姿がみられた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが感じたことを発言できるように話し合いのヒントは出しながらも、様子を見守っていくことが大切だと再認識することができた。話し合いをする様子を見守る中において、一人ひとりの発見を受け止めることができた。子どもたちからの言葉や動きを逃さず受け止め、クラスで共有していくことで更なる気づきに繋がり更なる探求へと繋がることを改めて知る機会となった。大人にとっては当たり前の感覚であっても子どもにとっては大きなことであることや、子どもたちの感性を育てていく上でも保育者が一人ひとりを認め受け止めていくことが必要であることを再認識できた。